

# 平成 26 年度継続課題に係る継続評価書(平成25 年度採択課題向け)

研究機関 : 大阪大学、日本電気株式会社

研究開発課題 : 変動する通信状況に適応する省エネなネットワーク制御基盤技術  
の研究開発

研究開発期間 : 平成 25 ～ 27 年度

代表研究責任者 : 村田 正幸

■ 総合評価 : 適

(評価点 18 点 / 25 点中)

## (総論)

引き続き研究開発を推進することが適当である。

## (コメント)

- 明確な問題点は見出せない。
- 国際的にも高い評価が期待される。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム  
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

計画どおりの成果が得られている。

(コメント)

- 既存技術に対して、有効な結果が出ている。
- 特許出願について、目標を上回っている等、優れた取組みがなされている。
- 省エネルギーの観点から、より直接的で明確な達成すべき指標を設定すべき。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

適切な予算管理、執行が行われている。

(コメント)

- 限りある資金は有効に利用されている。

### (3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

#### (総論)

計画は適切であり、有効なものである。

#### (コメント)

- 実行可能かつ有効な計画である。
- 一部の計画については、国際的にも先進的である。
- 実用化展開シナリオのさらなる具体化が必要である。

### (4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

#### (総論)

計画は妥当である。

#### (コメント)

- 厳しい予算額を適切に使用する計画がなされている。
- 適切な管理体制が組み立てられており、計画も金額も妥当といえる。

## (5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

実施体制は適切である。

### (コメント)

- 運営委員会などの取り組みも適切である。
- 引き続き研究者が伸び伸びと活動できる環境の維持に配慮されたい。